

## 第1回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2011年6月9日（木）午後2時～3時

場 所：市役所第三庁舎第3会議室(15階)

出席者：〔委員〕岩森、小倉、庄司、末吉、瀧田

〔川崎市〕地球環境推進室

〔事務局〕杉浦環境プロジェクト株式会社

### 1. 開会

川崎市の挨拶（地球環境推進室長：福芝）

3月の東日本大震災を受け、川崎市では環境に関する取り組みがさらに重要となり、市の対応も広範囲に求められている。かわさきコンパクトは市民と事業者が連携して進めていくことが期待されている。今年度から担当の長谷川課長、井田係長の紹介。

### 2. 配布資料の確認

事務局から配布資料を確認した。

### 3. 委員会設置要項について

事務局から資料に基づいて委員会設置要項を説明し、了承された。

### 4. 委員長及び副委員長の選出について

委員長に小倉委員、副委員長に庄司委員が就任した。

小倉委員長から、かわさきコンパクトが環境だけでなく人権の問題など多様な問題に取り組むための場として、環境以外の分野の団体にも参加を促す方を検討したいと挨拶があった。

庄司副委員長から、昨年度末のかわさきコンパクトフォーラムが震災により中止となったことで昨年度の実績を広く市民に報告することが出来なかった分、今年度は実績を目に見える形にしていきたいと挨拶があった。

### 5. 今年度の実施計画について

事務局から資料に基づき今年度の課題認識と方針を説明し、了承された。それに付随し、次の意見が委員から出された。

- 臨海部企業は3.11以降、節電対応を含め、今まで以上の非常に大きな努力をしている。市内の中小製造業者で、30数社が被災地との関係がある情報が寄せられている。
- かわさきコンパクトを国際化の視点と企業・地域間の連携の速さを加味しながら考え

たい。

- 市民も率直に意見交換をすれば企業の取り組みに関して伝わる、市民が味方についてくれる場を目指したい。
- グローバル・コンパクトから見ると、かわさきコンパクトは環境分野に偏っている。また、同じ環境分野ではCCかわさきもあるため、認知されづらい。
- 環境に特化していない活動、団体や企業にとっては入りにくい印象がある。
- 東日本大震災 3.11 以降、既存のパラダイムで対応できない事態が発生している。社会の仕組みが大きく変わる中で、災害への対応を含め、人権・子ども・高齢者問題、生活の安心・安全を、市民と企業が協力してつくれる場にならないか。
- 今後 3.11 を受け、自治体間の施策が市民・事業者から比較され、競争を伴う中で、川崎市が創ったかわさきコンパクトを、どう活用して自治体として生き残るか。
- かわさきコンパクトが開始してから 5 年経つ今、かわさきコンパクト本来の趣旨である分野横断的に進める方策・仕組みを、川崎市に検討してもらいたい。

(川崎市) 3.11 以降社会情勢が変わる中で、環境への取り組みが、市民生活の安心・安全づくりに貢献していく必要があるという認識の上で、委員会の指摘をふまえて事務方で考えて提示していきたい。

- かわさきコンパクトの参加に際し、市長名・局長名による参加証の発行を検討できないか。

(川崎市) 検討する。

- 低 CO2 ブランドの企業へ参加を呼びかけられないか。
- 温暖化防止活動推進センターや高津市民館でかわさきコンパクトの展示はできないか。

## 6. かわさきコンパクトセミナーについて

事務局から、第 1 回のセミナーについて GCJN 事務局次長・花房氏を講師に、7 月 14 日開催で進めている旨を説明し、了承された。

第 1 回セミナーの意見交換会では庄司委員が進行を担当することになった。

セミナーのチラシについて、かわさきコンパクトを判り易く解説して欲しいと委員の意見があった。

## 7. 事務連絡

募集要項や申請書は早急にかわさきコンパクトのホームページへ掲載し募集を開始する。

次回 10 月の委員会日程に関しては、メーリングリスト上で調整する。

## 8. 閉会